

武蔵水路の防災操作（内水排除）ないすいはいじよ

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では8月13日（金）2時頃から雨が降り始め、15日（日）17時にかけて総雨量128mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）を記録しました。

2. 武蔵水路の防災操作（内水排除）

武蔵水路では、降雨による出水を2箇所の水門及び6箇所の放流口から武蔵水路内に取込み荒川に排水する内水排除を実施しました。

水門：佐間水門（忍川）、川面水門（元荒川）

放流口：（行田市）長野落放流口、8号放流口、旧忍川放流口、堤根放流口
（鴻巣市）川面放流口、赤見台放流口

今回の内水排除で排水した量は、8月15日（日）8時過ぎから同日18時までで累計約65万 m^3 、東京ドーム（124万 m^3 ）約0.5杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

今回の内水排除では、忍川の佐間水門地点において、15日（日）8時40分時点のピーク水位A. P. 17.50mに対して、佐間水門により出水を取込まなかった場合の水位はA. P. 18.01mになると考えられ、約0.51mの水位低減をしたものと推定されます。

川面水門では、元荒川の川面水門地点において、15日（日）8時40分時点のピーク水位A. P. 16.29mに対して、川面水門により出水を取込まなかった場合の水位はA. P. 16.48mになると考えられ、約0.19mの水位低減をしたものと推定されます。

※A. P. は荒川工事基準面

4. これまでの内水排除実績

武蔵水路は、平成27年度に改築事業を完了しました。

改築後に実施した内水排除は、平成28年度から通算25回目になります。

平成28年度実績：内水排除 6回

平成29年度実績：内水排除 3回

平成30年度実績：内水排除 3回

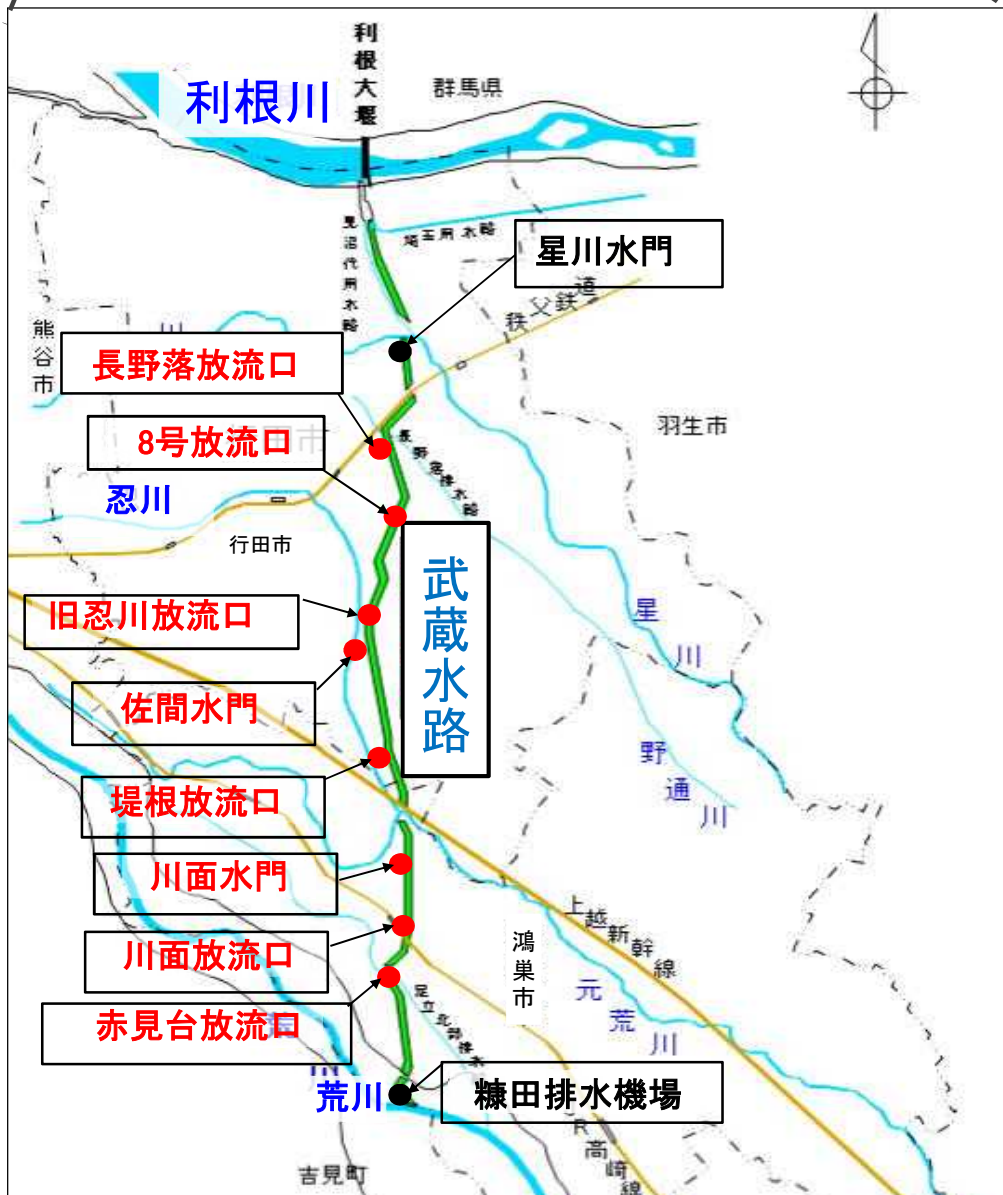
令和元年度実績：内水排除 5回

令和2年度実績：内水排除 5回

令和3年度実績：内水排除 3回

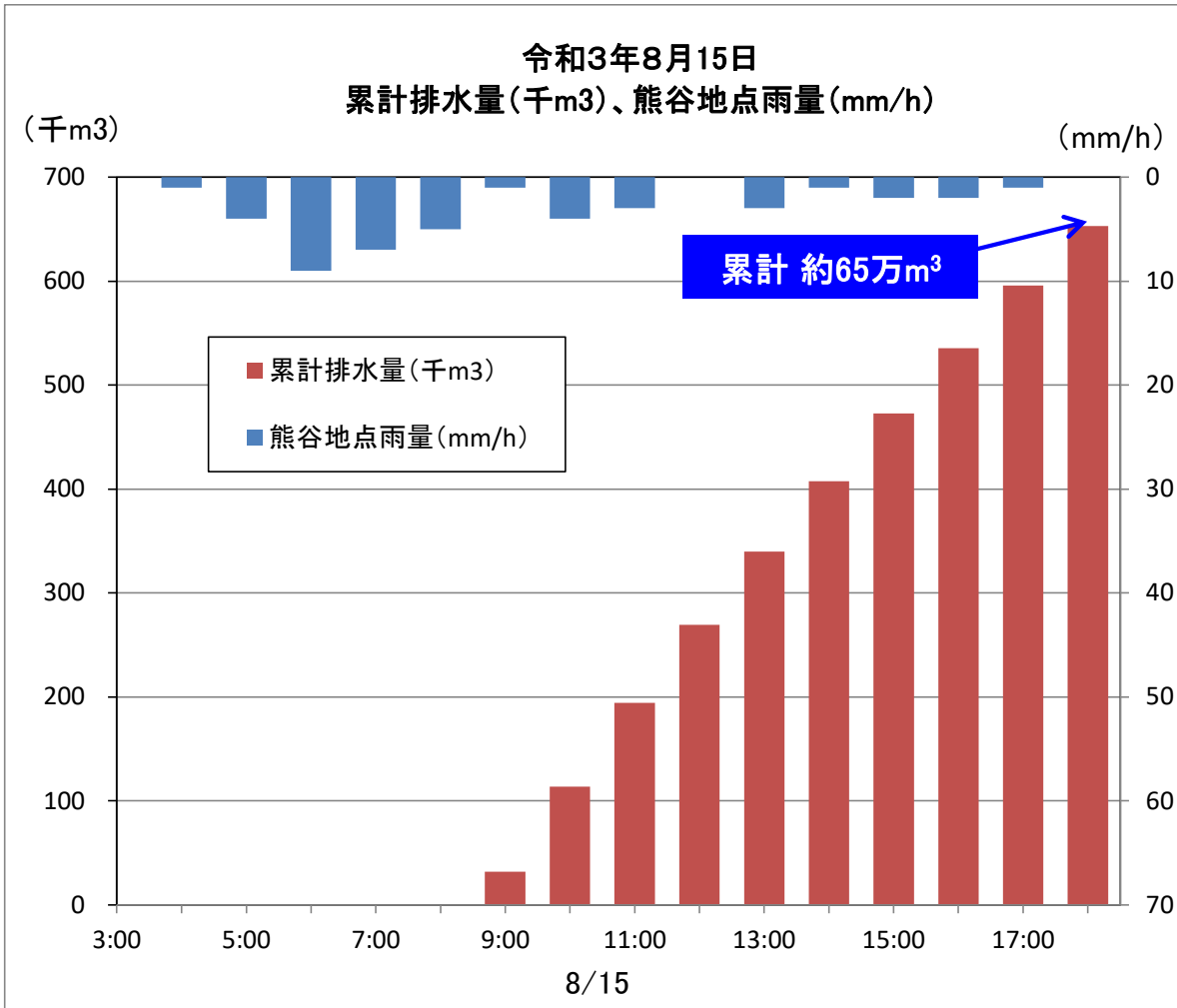
※改築後の最大排水量：約537万 m^3 （平成29年10月22日～24日）

武蔵水路位置図

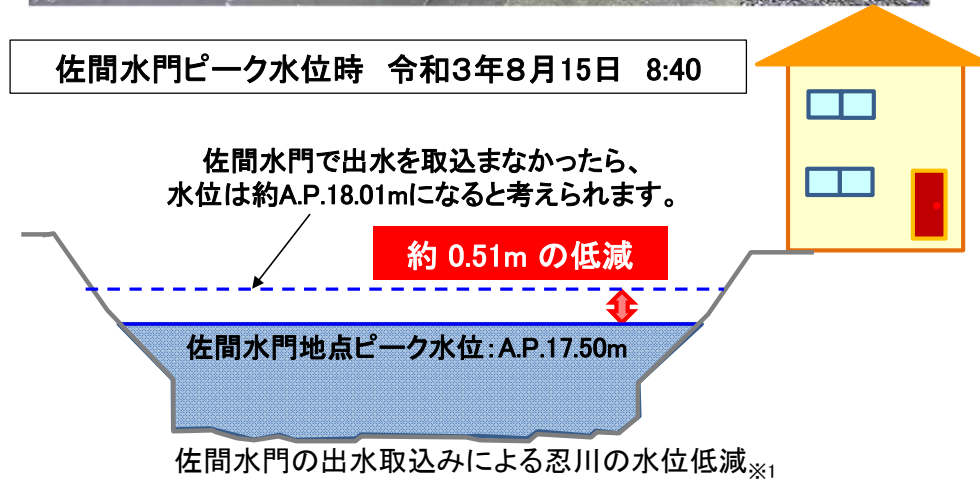


武蔵水路 水門・放流口等位置図
(赤字の施設は内水排除操作を行った施設)

令和3年8月15日 前線による降雨に伴う武蔵水路内水排除速報



佐間水門ピーク水位時 令和3年8月15日 8:40



- 8箇所の水門・放流口により出水を武蔵水路に取込み、累計約65万m³※1を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³※2)約0.5杯分の量に相当します。
- 佐間水門、川面水門で出水を取込んだことにより、忍川(佐間水門付近)で約0.51m、元荒川(川面水門付近)で約0.19mの水位低減※1をしたものと推定されます。

※T.P.(東京湾平均海面)0.0m=A.P.(荒川工事基準面)1.13m

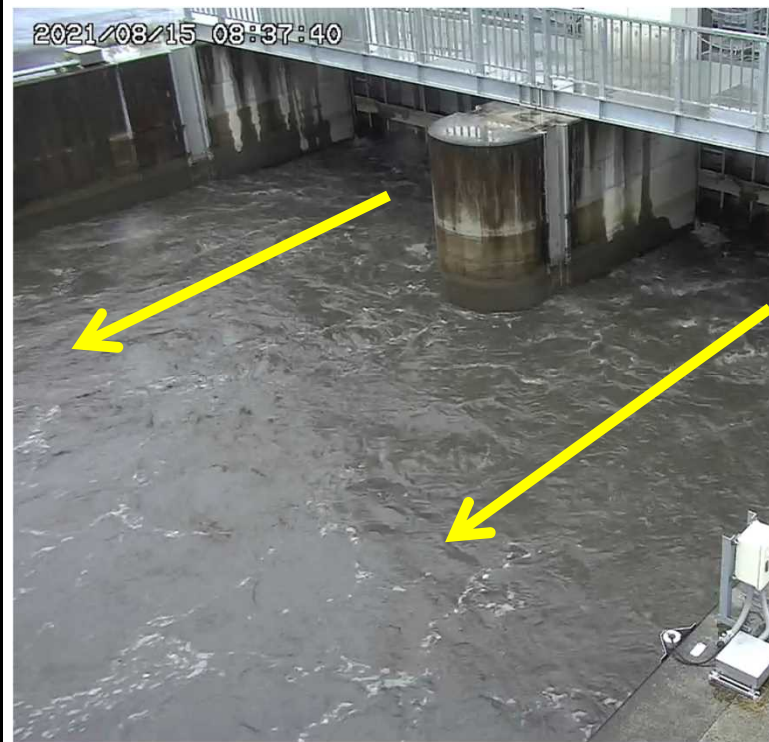
※1 取込み量及び低減値は水資源機構試算 ※2 東京ドームHP(<https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/facilities/index.html>)

○令和3年8月15日 前線による降雨に伴う内水排除状況

佐間水門

出水取り込み状況

(令和3年8月15日 8:37 佐間水門 水路側)



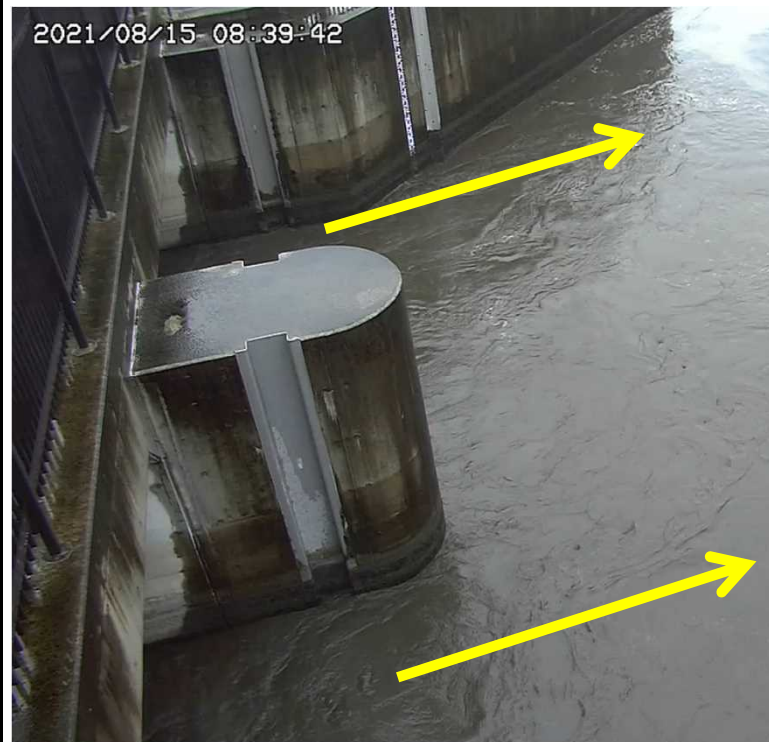
佐間水門及び武蔵水路の外観



川面水門

出水取り込み状況

(令和3年8月15日 8:39 川面水門 水路側)



川面水門及び武蔵水路の外観

